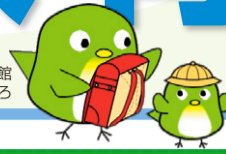


ちよっふの教育

No.86
3/20

発行 調布市教育委員会 編集 教育部教育総務課 (刊行物番号 2022-159)
調布市ホームページ <https://www.city.chofu.tokyo.jp/>

調布市立図書館
公式キャラクター じろ



令和5年(2023)

令和5年度からの各計画を策定しました

調布市教育委員会では、市の教育環境を取り巻く喫緊の課題に向けた取り組みを計画的に推進するために、令和5年度から令和8年度までを計画期間とした各計画の策定を行いました。

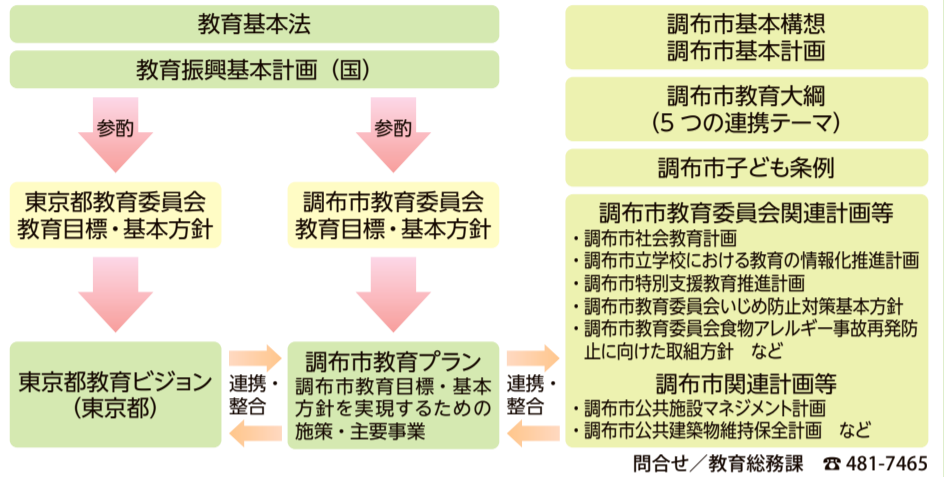
調布市教育プラン

調布市教育プランは、教育基本法に基づき調布市教育委員会で策定している教育施策の総合計画です。

令和4年度は現行プランの計画期間が最終年度となるため、市民の皆様にご意見をいただきながら新たなプランを策定しました。令和5年度以降の4年間は新たなプランに基づき、持続可能な社会の創り手の育成、GIGAスクール構想を踏まえた学びの充実、コミュニティ・スクールの導入推進や史跡・文化財の保存・活用など、調布市の教育環境を取り巻く喫緊の課題に対して計画的に取り組を進めてまいります。



各計画等との関係



調布市立学校における教育の情報化推進計画



高度情報化による社会的変化が激しい現代において、児童・生徒が情報や情報技術を主体的に選択し活用する能力の育成のほか、教員のICT活用能力の向上、働き方改革、ICT環境整備を推進することで、調布市の教育の質の向上に取り組むための計画です。

問合せ/指導室 ☎481-7480

第2期調布市特別支援教育推進計画

調布市の特別支援教育の理念である「どの子どもも十分な教育を受けることができ、共に学び、共に生きる社会を目指し、すべての学校、すべての学級で特別支援教育を推進します」の具現化に向け、「学校の在り方」「教職員の在り方」「連携の在り方」「環境の在り方」の4つの基本方針により特別支援教育の推進に取り組むための計画です。

問合せ/指導室 ☎481-7585

調布市社会教育計画

計画が目指す将来像を「学びが広がり 人がつながり みんなの願いでつくるまち」として掲げ、人生100年時代に向けた対応やICTを活用した活動へのニーズなど、今後の調布市の社会教育環境を取り巻く課題に対応するための計画です。

問合せ/社会教育課 ☎481-7487

第4次調布市子ども読書活動推進計画



子どもが、成長や興味に応じて本の楽しさを発見し、読書の習慣をつくることのできるよう、家庭、地域、学校、行政が一体となって、子どもの読書活動の推進に取り組むための計画です。

問合せ/図書館 ☎441-6181

各計画や各計画に関するパブリック・コメントの結果と調布市教育委員会の考え方については、準備が整い次第、市ホームページや各施設で順次公開します。

令和5年4月からコミュニティ・スクールを先行導入



令和5年4月に第三小学校、上ノ原小学校、第五中学校でコミュニティ・スクールを先行導入します。その後、段階的に導入し、令和7年度までに市立小・中学校全校への導入を目指します。

コミュニティ・スクールとは

保護者や地域の皆さんが責任をもって学校運営に参画する仕組みで、「地域とともにある学校づくり」を推進していくものです。

コミュニティ・スクールの導入により目指す姿

①学校運営への参画

→学校・家庭・地域が同じ目標やビジョンを共有し、当事者意識をもって子どもたちの教育に携わる参画の気運を向上

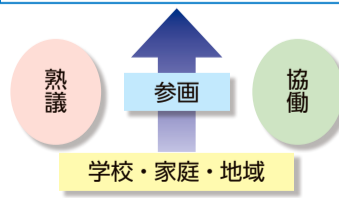
②組織的・持続的な体制の構築

→校長や教員の異動があっても子どもたちに安定した教育の機会を提供できるよう、学校・家庭・地域との組織的・持続的な連携・協働体制を構築

③役割分担の確立

→学校が教育活動に注力できるよう、学校・家庭・地域が担うべき役割等を整理

コミュニティ・スクール
(学校運営協議会を設置した学校)



※コミュニティ・スクールの詳細は、市ホームページ(QRコードからアクセス可)をご覧ください。



コミュニティ・スクールの導入による効果

子どもたちの豊かな成長を共に支え育む学校・地域づくりの推進

子どもたちにとって

→学びや体験活動の充実、多様な人材や価値観に触れる機会の増加

学校にとって

→家庭や地域の理解と協力を得た学校運営の実現、地域人材を活用した教育活動の充実

保護者にとって

→学校や地域に対する理解の深まり、保護者同士や地域との交流の機会の増加

地域にとって

→地域づくりの担い手の育成、学校を中心とした地域ネットワークの形成

令和4年度調布市教育シンポジウムを開催

令和5年1月28日(土)、「これからの社会を生きる子どもたちのために学校と地域で何ができるか」をテーマに教育シンポジウムを開催し、コミュニティ・スクールの可能性について考えました。



問合せ/指導室 ☎481-7480

令和4年度

調布市教育委員会表彰

令和5年2月24日(金)に調布市グリーンホール大ホールで、スポーツ・文化活動等において、他の模範となる顕著な活動をした児童・生徒・団体を表彰しました。今回は、令和4年度分29件、令和3年度分2件の表彰を行い、教育長・教育委員から受賞者一人一人へ表彰状を授与しました。



受賞者代表の言葉

第六中学校第3学年 市川 みらい さん

(令和4年度中学生の「税についての作文」国税庁長官賞 受賞/「有益な調査, 研究をしたもの」による表彰)

本日は、このように盛大な表彰式を催していただき、大変ありがとうございます。



私はこの度「中学生の税の作文」で国税庁長官賞を受賞しました。この作文を書こうと思ったきっかけは祖父の死です。末期がんだった祖父の「大好きな自宅で大往生したい」という最後の願いを叶えるため、私たち家族は在宅医療や介護サービスについて調べ、税金が医療や介護に多く使われていることを知りました。そして社会には困ったとき、苦しいときに助けてくれる人やサービスがたくさんあることを知り、大変心強く思いました。

祖父は私が何か挑戦するとき、必ず「みらいならできる」と言ってくれました。これからは、この受賞と祖父の言葉を胸に、自分を助けてくれる全てに感謝し、様々なことに挑戦していくとともに、私自身社会を支える一員になりたいと思います。

本日は本当にありがとうございました。

被表彰者一覧

(令和5年1月27日時点)

表彰理由等、詳細は市ホームページ(QRコードからアクセス可)をご確認ください。



●教育上特に推賞に価する善行のあったもの

石丸 大賀・大村 一心・

島田 健(飛田給小学校)

●有益な調査, 研究をしたもの

松田 妙音(第三小学校)

清水 双葉(北ノ台小学校)

市川 みらい(第六中学校)

石山 稟恩(第六中学校)

●スポーツにおける活躍

鹿内 遥介(第一小学校)

長谷部 蒼昊(八雲台小学校)

伊藤 青桔(緑ヶ丘小学校)

田畑 莉菜(多摩川小学校)

櫻井 成(調布中学校)

ラグビー部(神代中学校)

佐藤 琴美(第三中学校)

関 杏奈(第三中学校)

山口 采実(第三中学校)

荘司 龍玖(第三中学校)

藤井 隼斗・石原 葉・

劔持 駿・劔持 陸

(第三中学校)

南畑 遥輝(第三中学校)

石坂 太樹(第三中学校)

バドミントン部(第三中学校)

富樫 奨(第五中学校)

神 綾香・高木 杏

(第六中学校)

小林 兼輔(第七中学校)

長沼 一汰(第七中学校)

(過年度)

鹿内 遥介(第一小学校)

●文化活動における活躍

五十嵐 麗衣(八雲台小学校)

宮本 武虎(多摩川小学校)

合唱部(神代中学校)

平田 瑠菜(第四中学校)

五十嵐 結衣(第七中学校)

隠田 悠人(第七中学校)

(過年度)

石塚 真帆(若葉小学校)



問合せ/教育総務課 ☎481-7465

体力向上事業について



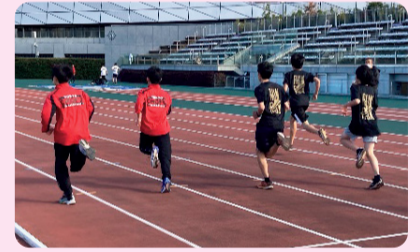
ジュニア陸上体験教室



ゆめおり陸上クラブと連携した陸上出前教室

調布市は令和4年度に東京都からTokyoスポーツライフ推進指定地区に指定され、子どもたちの体力向上を図る施策に取り組んでいます。令和4年度も昨年度に引き続き「ゆめおり陸上クラブ」と連携し、小学校13校、中学校3校において陸上出前教室を実施いたしました。子どもたちはアスリートの迫力ある模範演技を前にして、目を輝かせながら見ていました。また、アスリートの方の指導を熱心に聞きながら一生懸命授業に取り組んでいました。授業後のアンケートでは、約80%の子どもたちが、運動の必要性を強く感じたと回答しました。

令和4年10月10日(月)に小学生向け、12月4日(日)に中学生向けとしてAGFフィールドで調布市体育協会と協力してジュニア陸上体験教室を実施しました。講師として小学生向けには東京オリンピック110mハードルに出場した寺田明日香さん、中学生向けには世界陸上に出場した高尾憲司さんにお越しいただき、指導を受けました。参加した児童・生徒は走るコツを意識しながら走ったり、講師の先生に自宅でできる練習方法を質問したりと、主体的に取り組む姿が見られました。



問合せ/指導室 ☎481-7480

教育随想

きょういくずいそう

校長先生に日ごろ感じている思いを聞きました。

教育に夢と誇りを

第一小学校長

川島 隆宏



私が初任の頃、あるお母さんの「先生という仕事は、真っ白なキャンパスに自分の好きな絵を思いっきり描ける素敵な仕事ですね!」という言葉は、私の36年間の教員生活を支えてくれる言葉となりました。担任の頃は、自分の目指す授業や学級・学年集団づくりに、管理職としては、理想の学校づくりに力を尽くしてきたつもりです。いずれの立場においても、夢に向かって進んでいるので、苦労はありましたが、楽しい日々でした。今、教員や教育に対するネガティブなイメージが取り上げられていますが、こんなに素敵な仕事はないと、大きな声で伝えたいと思います。

感謝

八雲台小学校長

小野 勝政



長きに渡り教員生活を送ってきて、年数を重ねるごとに感謝の気持ちが強くなったように思います。教員時代は、子どもから学び、保護者の方々から気づきをいただき、管理職になってからは、地域の方々から支えられていることを実感しました。また、学校の全職員が協働することで、学校経営が円滑になる。多くの人の思いが重なり合って学校が動いていることに、関わりのあった全ての方に感謝の気持ちでいっぱいです。

教育は人なり

滝坂小学校長

小林 美也子



小学校時代からの夢が実現して教員になり、これまで多くの教え子や保護者・地域の皆様との出会いがありました。そしてその出会いから学ばせていただいたことが、自分の大切な財産となることが、「教育は人なり」といいますが、教育に最も大切なのは人間性であるということを経験して実感しています。平成13年に深大寺小学校に異動してから、深い愛着のある調布市での教員生活が20年を越えました。今後も子供たちの幸せのために、「教育は人なり」という言葉を座右の銘とし、全力を尽くしてまいります。

人によって人となる

国領小学校長

内海 美穂



「人と関わり、人を育てる」教師という職業に憧れ、大学を卒業してから今日までずっと、学校現場の中で生きてきました。時代も周りの環境も変わりましたが、子供たちが本来持っている今よりもよくなるよう、伸びようとする思いは変わらないと感じています。私自身、この仕事を通して、多くのことを経験し、学び、育てていただきました。今の自分があるのは学校とそこに携わっていただいたすべての人々のおかげです。「人は人によって人となる」学校がすべての児童にとって人として成長できる場となるように、これからも力を尽くして参ります。

学校の周年記念式典を実施しました

杉森小学校

開校50周年

杉森小マスコット「杉りん」



杉森小学校は開校50周年を迎えました。記念式典には、6年生が参列し、来賓の方々に伝統の鼓笛を披露することができました。全校児童は、あとから動画を視聴し、50周年をお祝いしました。地域の方々とPTAで組織される周年実行委員会には、子供たちのために様々な記念事業や記念品の準備をしていただきました。ありがとうございました。



八雲台小学校

開校70周年

70周年記念マスコット「やとっぴー」



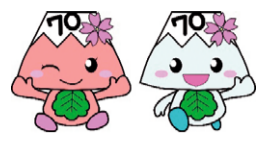
八雲台小学校は開校70周年を迎えました。令和4年10月28日(金)に市長・市議会議長・教育長並びに保護者・地域の代表者を来賓としてお迎えし、開校70周年記念式典が挙行されました。式典には全校児童を代表して6年生が参加しました。歌や呼びかけを通して、八雲台小学校のよさ、地域への感謝の気持ちが伝えられました。



富士見台小学校

開校70周年

70周年記念マスコット「ななちゃん・まるくん」



富士見台小学校は開校70周年を迎えました。児童作成のスローガン「70周年きらめく未来の花が咲く」のもと、感染症対策を講じつつ、全校写真撮影、記念集会、全校共同作品に取り組みました。記念歌「花トリドリ」は全校児童が大好きな歌になりました。式典は6年生が参列し、他学年は教室からオンライン参加をして心を一つにお祝いしました。



令和4年度東京都教育委員会表彰 (健康づくり功労)

調布市の学校保健に長年御尽力をいただいた先生方が、東京都教育委員会から表彰を受けられました。これまでの御活躍と御功績に敬意を表します。

上ノ原小学校・第六中学校
学校医(耳鼻科)
たなかひろみ
田中博美先生

染地小学校学校歯科医
きくちりょうせい
菊地亮生先生



深大寺小学校・柏野小学校学校薬剤師
あらいほ
荒井さち穂先生

問合せ/学務課 ☎481-7475

令和5年度ジュニアリーダー・シニアリーダー 講習会メンバー募集!

ジュニアリーダー(中学生対象)・シニアリーダー(高校生学齢対象)講習会は、市内の中学生・高校生が集まり、ゲームや野外活動などの遊びや体験を通して、学校・学年を超えた仲間たちと一緒にリーダーシップを身につけていく楽しい講習会です。活動は毎月1回で、全ての講習会に参加できなくても大丈夫です。 ※令和5年度ジュニア・シニアリーダー講習会の受講生の募集については、市報及び調布市ホームページをご覧ください。



令和4年度講習会(レクの集い)

問合せ/社会教育課 ☎481-7488

郷土学習展「ちょっと昔の暮らし」の開催

郷土博物館では、毎年1月から小学校3年生社会科の学習に対応した展示を開催しています。自分たちの暮らしている地域の昔の暮らしや道具、まちの移り変わりの様子を学べる展示です。この展示では、博物館の所蔵資料から、明治・大正・昭和の衣食住の道具を中心に紹介しています。昭和の中頃から、電化製品が広まり暮らしが便利で清潔になっていく一方で、それまで使われていた道具やその使い方はあつという間に失われていきます。展示を通してちょっと昔の暮らしについて思いを巡らせてみてください。



郷土学習展

- 開催期間 令和5年1月11日(水)～5月7日(日)
- 会場 郷土博物館1階展示室
- 開館時間 午前9時～午後4時
- 入場料 無料
- 休館日 月曜日(月曜が祝日の場合は翌平日)



※新型コロナウイルス感染症対策のため、利用の人数・サービスを制限して開館しています。状況により、開催内容の変更をする場合がありますので、詳細は市ホームページをご覧ください。 問合せ/郷土博物館 ☎481-7656

公民館の小・中学生向け教室の開催、自習室のご利用について

東部、西部、北部各公民館では、夏休み期間を中心に小・中学生向けの各種教室を開催しています。令和4年度は、囲碁、工作、英語などの体験教室や手芸、科学、陶芸教室などを実施しました。また、自習室として諸室等を開放しご利用いただきました。令和5年度も実施の2ヵ月前位から、公民館だより、市報、ホームページなどでお知らせいたしますので、ぜひご利用ください。 また、各公民館では、無料Wi-Fiを導入しています。インターネットを利用した学習や会議の機会にご活用ください。



親子工作教室(ガラス工芸)

- 【東部公民館】若葉町1-29-21 ☎03-3309-4505
- 【西部公民館】上石原3-21-6 ☎042-484-2531
- 【北部公民館】柴崎2-5-18 ☎042-488-2698



※お申込み、ご利用方法などの詳細は各公民館にお問合せください。

調布の文化財

市指定文化財・入間町城山遺跡

第55地点1号・2号・4号竪穴住居跡出土遺物

入間町城山遺跡は、旧石器時代から中世にかけての集落遺跡です。平成29年度に行われた第55地点の発掘調査では、旧石器時代の石器集中部や礫群、縄文時代中期の竪穴住居跡や集石土坑、弥生時代中期から古墳時代前期の竪穴住居跡、古墳時代後期から古代の竪穴住居跡、中世以降の掘立柱建物跡や柵列などが検出されました。

第55地点の調査では多量の縄文土器や石器などが出土していますが、このうち1号・2号・4号竪穴住居跡から出土した土器群は、縄文時代中期前半の勝坂2・3式土器を主体とし、器種構成は深鉢を中心に浅鉢や有孔鏝付土器からなります。器面には顔面装飾突起や蛇体装飾、人体文など呪術性の強い装飾や文様が施され、その造形は力強く躍動感にあふれています。縄文時代中期の武蔵野台地で用いられた土器群の特徴をよく表すまとまった資料であるとともに、当時の生活や精神文化をうかがわせる貴重な文化遺産として、令和3年3月31日付けで市指定有形文化財(考古資料)に指定されました。



入間町城山遺跡出土の有孔鏝付土器 問合せ/郷土博物館 ☎481-7656

図書館の電算システムを更新しました

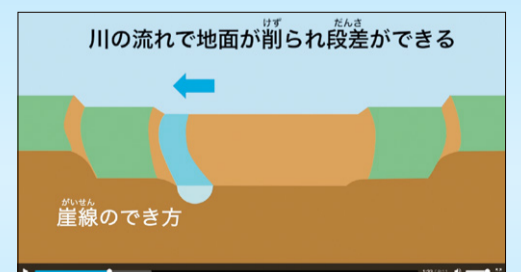


調布市立図書館公式キャラクター じろ

市内11館のすべてのパソコン、プリンター類を新しい機械に入れ替えました。図書館のホームページや館内蔵書検索用パソコン(びゅう太)の機能も使いやすくなっています。また、スマートフォンから利用カードのバーコードを表示できる機能も新しく搭載しました。是非使い易くなった図書館を利用して、新年度の準備を始めてみませんか? 問合せ/図書館 ☎441-6181

教材として使える動画をホームページで公開

武者小路実篤記念館が持つさまざまな資料や情報を教材として活用してもらいたいと考え、動画を制作しています。現在はやさしい言葉で書かれた実篤の詩の朗読動画「朗読で楽しむ武者小路実篤の詩」2篇、そして今も残る豊かな自然について「実篤公園で学ぶ調布の自然」2篇を公開しています。今後も適宜制作し、当館ホームページ(右のQRコードからアクセス可)で公開していく予定です。ぜひ学習にお役立てください。



実篤公園で学ぶ調布の自然 「国分寺崖線からみた実篤公園」



問合せ/武者小路実篤記念館 ☎03-3326-0648

令和5年度就学援助申請受付 4月からスタート!

児童・生徒が学校で等しく勉強できるように、経済的に困りの保護者に対して、給食費や学用品費などの学校で必要とする費用の一部を援助しています。希望される方は、学務課へ申請の手続きをお願いします。詳細は、市ホームページ(右のQRコードからアクセス可)にも記載しております。<トップページ→子育て・教育→学校・就学→就学援助・奨学金>からもご覧ください。



希望される方はお忘れなく!



対象者	申請の手続き	援助の内容															
<p>調布市に居住し、公立小・中学校に在籍する児童・生徒の保護者で、所定の認定要件に該当する方です。申請内容を審査して決定します。</p> <p>主な認定要件</p> <p>いずれか1つに該当する方が対象です。</p> <ul style="list-style-type: none"> 世帯全員の市民税が非課税である。 児童扶養手当を受給している。 世帯の所得の合計が基準額未満である。 令和5年1月以降に新型コロナウイルス感染症により収入が激減した方 <p>(収入・所得額の目安)</p> <table border="1"> <tr> <th>世帯人数</th> <th>2人</th> <th>3人</th> <th>4人</th> <th>5人</th> </tr> <tr> <td>収入例</td> <td>約275万円</td> <td>約376万円</td> <td>約425万円</td> <td>約534万円</td> </tr> <tr> <td>所得例</td> <td>約184万円</td> <td>約256万円</td> <td>約296万円</td> <td>約383万円</td> </tr> </table> <p>※世帯構成・年齢・家賃月額などにより異なります。他の要件もありますので、市ホームページをご確認ください。ご確認ください。</p>	世帯人数	2人	3人	4人	5人	収入例	約275万円	約376万円	約425万円	約534万円	所得例	約184万円	約256万円	約296万円	約383万円	<p>①お知らせ・申請書の配付</p> <p>毎年4月上旬に各学校から児童・生徒全員に配付します。その他、学務課で受け取るか、調布市ホームページからダウンロードすることも可能です。</p> <p>②必要書類</p> <ul style="list-style-type: none"> 申請書 必要な証明書等のコピー(必要な方のみ。申請書の裏面をご確認ください。) <p>③提出方法</p> <p>調布市教育委員会学務課へ持参又は郵送</p> <p>④受付期間</p> <p>4月分から支給を受けたい場合は、令和5年5月1日(月)までに提出してください。この期間以降に申請し、認定となった場合は、申請を受付けた月の翌月分からが支給の対象となりますので、お早めにご提出ください。</p>	<p>●給食費 ●学用品費</p> <p>●通学用品費 ●校外活動費</p> <p>●新入学学用品費 ●新入学準備金</p> <p>●移動教室費 ●修学旅行費</p> <p>●卒業記念品費 ●通学費</p> <p>●体育実技用具費 ●医療費</p> <p>※学年や認定月により受けられる援助の内容や支給金額が異なります。詳細は、4月に配付するお知らせをご確認ください。</p> <p>[支給金額の例(年額)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校6年生 約16万円 ・中学校3年生 約18万円
世帯人数	2人	3人	4人	5人													
収入例	約275万円	約376万円	約425万円	約534万円													
所得例	約184万円	約256万円	約296万円	約383万円													

●●● 指導室・教育相談所では教育に関するさまざまな支援や相談を行っています ●●●

教育委員会では、さまざまな教育相談や不登校児童・生徒への支援を行っています。相談や支援を希望する場合や詳しく知りたい時は、各問合せ先にご連絡ください。

教育相談	不登校児童・生徒への支援
<p>●来所相談</p> <p>3歳から18歳くらいまでのお子さんについての相談をお受けしています。お子さんと保護者に来所していただき、心理相談員による継続的な相談やプレイセラピーを行います。</p> <p>問合せ/教育相談所 ☎481-7633</p> <p>●電話相談</p> <p>専門の相談員が、学校生活や子育てに関する相談を匿名でお受けしています。</p> <p>【受付時間】</p> <p>平日午前9時～午後5時15分(土・日曜日、祝日を除く)</p> <p>問合せ/教育相談所 ☎481-7777</p> <p>●就学相談</p> <p>通常の学級における指導では、その能力を十分に伸ばすことが困難で、特別な支援が必要なお子さんに、適切な教育の場を提供するための相談を行っています。</p> <p>【就学相談(令和6年度入学)のご案内】</p> <p>令和6年4月入学予定のお子さんの就学相談のお申込みについての詳細は、令和5年4月頃、市ホームページに掲載します。</p> <p>問合せ/指導室 ☎481-7634</p> <p>●教育支援コーディネーターとスクールソーシャルワーカーへの相談</p> <p>小学校1年生から中学校3年生までのお子さんに関する学校・家庭での困りごとや気になることについての相談をお受けしています。</p> <p>問合せ/指導室 ☎481-7718</p>	<p>●訪問型支援「みらい」</p> <p>教育支援コーディネーター、心理士、スクールソーシャルワーカーが、不登校の小学生・中学生の自宅や公共施設などを訪問し、悩みごとの相談やお子さんに応じた学習の支援を行います。</p> <p>問合せ/指導室 ☎481-7718</p> <p>●適応指導教室「太陽の子」</p> <p>不登校又はその傾向が見られる小学校4年生～6年生の児童が、社会的自立に向けて学ぶための教室です。</p> <p>問合せ/指導室 ☎481-7718</p> <p>●分教室型不登校特例校調布市立第七中学校「はしうち教室」</p> <p>不登校の中学生が、社会的自立に向けて学ぶ学校です。文部科学省の認可を受け、ゆとりある時間割で学習します。</p> <p>問合せ/指導室 ☎481-7718</p> <p>●不登校児童生徒支援プロジェクトSWITCH(スイッチ)</p> <p>東京学芸大学と連携して不登校の小学生・中学生の支援を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メンタルフレンド 学校を長くお休みしている小学生・中学生の家庭に「お兄さん・お姉さん」的な役割でサポートする大学生・大学院生を派遣しています。 ・テラコヤ・スイッチ 学校を長くお休みしている又は休みがちになっている小学校4～6年生・中学生と学生スタッフによる小さな集団で色々な活動を行っています。毎週木曜日の午後4時から午後6時まで教育会館で活動しています。 <p>問合せ/指導室 ☎481-7585</p>

令和5年度 調布市防災教育の日 4月22日(土) 市立小・中学校 全校一斉実施します

教育委員会では、東日本大震災の教訓を風化させないため、4月の第4土曜日を「調布市防災教育の日」とし、自助・共助の精神を育む防災教育や防災訓練等を、全ての市立小・中学校、大町スポーツ施設で一斉に実施しています。



当日は、学校教育活動として調布消防署や防災活動に取り組んでいる講師などによる防災講話や「命」の授業、避難訓練を行うとともに、市統一テーマ訓練として、市職員と地域の方による「感染症対策を踏まえた避難所開設訓練」を体育館等で実施予定です。

※新型コロナウイルス感染症等の状況により事業内容が変更となる場合があります。詳細は、市報ちょうふ、市ホームページ等をご確認ください。

問合せ/教育総務課 ☎481-7465

**** 給食費の納入をお願いします ****

学校給食の運営については、学校給食法の規定により、実施に必要な施設・設備の整備費、人件費、光熱水費などは市が負担し、給食食材調達の際となる食材費を給食費として保護者に負担いただいております。

給食費の未納がありますと、食材の発注や給食会計処理に影響しますので、引落口座残額を確認いただき、期日までの納入をお願いします。

問合せ/学務課 ☎481-7476

教育委員会の開催状況

令和4年9月から令和5年2月までに、6回の定例会と2回の臨時会が開催されました。

主な案件

- ・調布市教育プラン(案)について
- ・調布市立学校における食物アレルギー対策10年のあゆみの発行について
- ・不登校児童・生徒への支援の充実について

・教育委員会の開催日・案件・会議録、教育委員会委員の活動報告、教育長交際費の支出状況など教育委員会の動きを市ホームページで公開しています。

令和4年度 総合教育会議の開催状況

令和4年12月23日に、第1回調布市総合教育会議が開催されました。調布市教育大綱<第2期>が今年度末で期間満了となることから、これまでの取り組みの振り返りや次期大綱策定の考え方などについて、市長、教育長、教育委員で意見交換を行いました。

今後、3月下旬に開催予定である第2回調布市総合教育会議において、大綱を決定し、市長と教育委員会が緊密に連携しながら、多様な教育課題の解決に取り組んでまいります。

問合せ/教育総務課 ☎481-7465

●QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。